



あいなん逸品図鑑 その④



「ヒオウギ貝」

生産者

黒田 ^{みつのぶ}光宣さん (家串)



愛媛
CATV
動画

愛南漁協内海支所ヒオウギ部会の会長を務め、アコヤ貝とヒオウギ貝の養殖を兼ねて行う黒田光宣さん。もともとは家族や親せきが食べる分の養殖を行っていましたが、平成15年から贈答用としてヒオウギ貝の養殖販売を本格的に開始し、現在4人の会員とともに松山市や関西方面を中心に出荷をしています。

8月頃、杉葉についたヒオウギ貝の稚貝を採取し、提灯かごと呼ばれるかごに入れ約1年ほどかけて8.5センチ以上の出荷サイズまで成長させます。カキやフジツボなどが付着すると成長が妨げられるため年2回ほど掃除を行うほか、2カ月に1回提灯かごの中身を入れ替えることも重要で、これらの作業が一番大変だと黒田さんは話します。また、ヒオウギ貝の特徴であるオレンジ・黄・紫の鮮やかな色を生かすよう、彩りを意識しながら箱詰めしています。

おすすめの食べ方は浜焼きで、ヒオウギ貝はホタテよりも甘みが強く、鮮度が良ければ刺身でも食べてもらいたいと話します。そのため、ヒオウギ貝は出荷する直前まで海に漬けておくなどの鮮度を保つ工夫をし、お客さまにより鮮度の良い商品を届けています。

アコヤ貝の大量へい死の影響もあり、ヒオウギ貝の販売数を増やしたいと話す黒田さんは、「配送運賃の値上げや新型コロナウイルスの影響で飲食店への発送も少なくなってきたので、個人や小売業者など新しいお得意先の開拓をしていきたい」と販売数向上へ意欲を見せました。



▲鮮度の良い商品を届けるため工夫を凝らす黒田光宣さん



▲保存方法やレシピを記載したパンフレットとともに発送します

文化 ✨ スポーツ

12/5 第30回フレンドリーカップソフトバレーボール大会

御荘B&G海洋センターで「第30回フレンドリーカップソフトバレーボール大会」(愛南バレーボール協会主催)が開催され、1部に4チーム、2部に3チームが出場して競技を楽しみました。

和やかな雰囲気の中で行われた大会では、選手が「ナイス」「一本」などの声を掛け合いチームメイトを励ます様子が見られ、好プレーに対して拍手が送られました。

1部で優勝したさかやん主将の坂田和也^{かずや}さんは、「久しぶりの試合で疲れたが、優勝して有終の美を飾ることができて最高」と話しました。

【大会結果】

- (一部) 優勝: さかやん 準優勝: シグマ
- (二部) 優勝: ぶあブルス 準優勝: ラッキーマン



▲好プレーを見せる選手

**12/9 「愛媛マンダリンパイレーツ」
登校見守り隊**

愛媛マンダリンパイレーツが愛媛県内の「交通安全指導」・「あいさつ運動」の啓発を目的に、「愛媛マンダリンパイレーツ」登校見守り隊を実施し、11月11日(木)から愛南町内5校(長月小学校、久良小学校、船越小学校、福浦小学校、一本松小学校)で朝の登校を見守りました。

12月9日(木)に町内最後となる一本松小に、河野翔太選手・林祐真選手・漆原幻汰選手の3人が訪れ、校門前であいさつを交わしながら登校する児童を迎えました。



▲児童を見守る選手たち

**12/8 寒い中、元気いっぱいクロッケー
「第16回クロッケー大会」**

町老人クラブ連合会による「第16回クロッケー大会」が、南レク御荘多目的広場で行われました。大会には12チーム総勢38人が参加し、晴天の中競技を楽しみながら交流を深めました。

【大会結果は次のとおり(優勝、準優勝を掲載)】

優勝 一本松A 準優勝 魚神山B



▲優勝したチーム一本松Aの皆さん

12/11 第17回愛南町スポーツ少年大会・サッカー競技



愛媛
CATV
動画



南レク城辺公園多目的広場ほかで「第17回愛南町スポーツ少年大会・サッカー競技」(愛南町スポーツ少年団本部主催)が開催され、1部Aから3部まで4つのブロックに町内13チーム123人の小学生が参加して試合を行いました。

師走とは思えぬ暖かさの中、選手は日頃の練習成果を発揮するとともに、指示や励ましの声を出し合い、優勝を目指して全力を注ぎました。

▶大会結果

1部A(小学6年生以下の部)

優勝:城辺少年サッカークラブ

準優勝:平城SC

1部B(小学6年生以下の部)

優勝:家串スポーツ少年団

準優勝:緑スポーツ少年団

2部(小学4年生以下の部)

優勝:城辺少年サッカークラブ

準優勝:一本松少年サッカークラブ

3部(小学2年生以下の部)

優勝:一本松少年サッカークラブ

準優勝:城辺少年サッカークラブ



▲1部A優勝:城辺少年サッカークラブ



▲1部B優勝:家串スポーツ少年団



▲2部優勝:城辺少年サッカークラブ



▲3部優勝:一本松少年サッカークラブ

10/27-12/12 「第16回スポーツフェスタ IN 愛南」

「第16回スポーツフェスタ IN 愛南」が10月27日(水)から12月12日(日)にわたり開催され、8種目11競技が行われました。

日程	種目	場所
10/27(水) ～11/17(水)	ソフトボール(一般の部・シニアの部)	城辺小学校グラウンド
11/10(水)	クロッケー(一般の部)	南レク御荘多目的広場
11/28(日)	軟式野球	南レク城辺野球場
12/3(金)	グラウンド・ゴルフ(団体の部・個人の部)	あけぼのグラウンド
12/5(日)	ラケットテニス(交流会)	西海体育館
12/12(日)	バレーボール(男子6人制・女子6人制)	御荘B&G海洋センター体育館
	ソフトバレーボール(一般女子の部)	
	テニス(A・Bクラス)	あけぼのテニスコート



▲ラケットテニス競技ではつらつとしたプレーを見せる選手

12/12 一般財団法人愛媛陸上競技協会・愛媛新聞社主催 「第72回愛媛駅伝競走・一本松-宇和島大会」

「第72回愛媛駅伝競走・一本松-宇和島大会」(一般財団法人愛媛陸上競技協会・愛媛新聞社主催)が開催され、46.6キロメートルのコースを1部と2部で計49チームが出場しました。

町内で唯一出場した愛南体協は、2部出場の26チーム中14位でした。3区を走った吉田友哉さんは、「愛南町の代表として走ることができたことを光栄に思います」と話しました。

【愛南体協成績】 タイム:2時間57分17秒

(1区 5.5km)河野 健太郎さん 17分47秒 (2区 6.7km)三原 慎也さん 27分24秒 (3区 4.3km)吉田 友哉さん 16分8秒
(4区 5.1km)埜下 雄史さん 18分31秒 (5区 7.7km)清家 克之さん 30分10秒 (6区 9.5km)蓮田 修平さん 35分10秒
(7区 7.8km)菅原 黎さん 32分07秒



▲号砲で一斉にスタートした選手

12/13 「愛媛県小学生インドアソフトテニス選手権大会」 「須崎ルーセントカップ四国女子インドアソフトテニス大会」

11月28日(日)に今治市で「愛媛県小学生インドアソフトテニス選手権大会」が開催され、女子の部で中山心春さん(篠山小6年)・山崎史帆里さん(咸陽小6年)ペアが準優勝、西村世汝さん(宿毛小6年)・岡崎月愛さん(篠山小6年)ペアが3位に入賞し、男子の部で吉田晴哉さん(一本松小6年)・田中匠治郎さん(一本松小6年)が5位に入りました。

また、12月12日(日)に高知県で行われた「須崎ルーセントカップ四国女子インドアソフトテニス大会」で中山さん・山崎さんペアが優勝をしました。



▲左から 田中匠治郎さん、吉田晴哉さん、中山心春さん、山崎史帆里さん、岡崎月愛さん、西村世汝さん

平城貝塚第8次発掘調査成果

縄文時代の文化を知る貴重な石器を発見



11月29日(月)から12月23日(木)まで発掘調査を行った御荘平城の平城貝塚第8次発掘調査現場で、縄文時代の生活様式や文化を知る上で重要な生活必需品である「石皿」という石器が出土しました。

愛南町に所在する平城貝塚は、数が少ない西日本の縄文貝塚の中でさらに希少な太平洋側にある縄文貝塚で、土器や石器、骨を加工したものなどの生活道具、縄文人の墓地などが発見されています。

今回の調査で出土した「石皿」は、約3800年前の住居などを建てる時に使う柱穴の跡にわざと立てて置いた状態で発見されました。このことから、使わなくなった「石皿」を柱穴に安置したことが考えられ、平城縄文人の精神文化を知る上で貴重な資料となります。

町は高い価値を持つ平城貝塚の恒久的な保護のため、国の史跡指定に向けて取り組んでいきます。



▲柱穴跡から出土した石皿

12/20 第2回平城貝塚再発見講座
縄文時代の暮らしを学ぶ



愛媛
CATV
動画

平城貝塚を通して古代人の使用していた道具や生活に触れ、縄文時代の暮らしについて学ぶ第2回平城貝塚再発見講座が平城交流センターで行われました。

この日は愛南町教育委員会生涯学習課の職員と愛南町文化財保護審議会委員の多田^{じん}仁さんを講師に招き、古代人の生活に欠かせない火の貴重さや石から刃物を作る方法についての講話、火おこしの実演などが行われました。

参加者たちは、ホルンフェルスと呼ばれる石を割って制作した刃物で魚の3枚おろしを見学した後、自分たちでも石の刃物をカッターのように使用して紙を切り、切れ味を体感しました。

親子で参加した児童は、「石を使って紙を切るのは大変でしたが、昔の人の気持ちが良く分かったのがよかった」と感想を話しました。



▲石の刃物で魚をさばく多田仁さん

生涯学習講座

「平城貝塚発見130年目の事実」を開催します

※事前に申し込みが必要です

平城貝塚は、令和3年で発見130周年を迎えました。この記念すべき年において、過去の調査成果を取りまとめることができ、遺跡の範囲についても新たな情報を得ることができました。

講座では、町が平城貝塚を国指定史跡として大切に保護することを目指すのに先立ち、“平城貝塚とは何なのか”という最も重要な問いについて、何よりも先に町民の皆さまにお伝えします。

▶日時 3月13日(日) 13:30~15:00 ▶場所 御荘文化センターホール

▶講師 愛南町教育委員会生涯学習課職員

生涯学習課 電話:73-1112